

# 評価結果総括表 (2013年暫定版)

岩手県大船渡市、岩手県陸前高田市、岩手県住田町

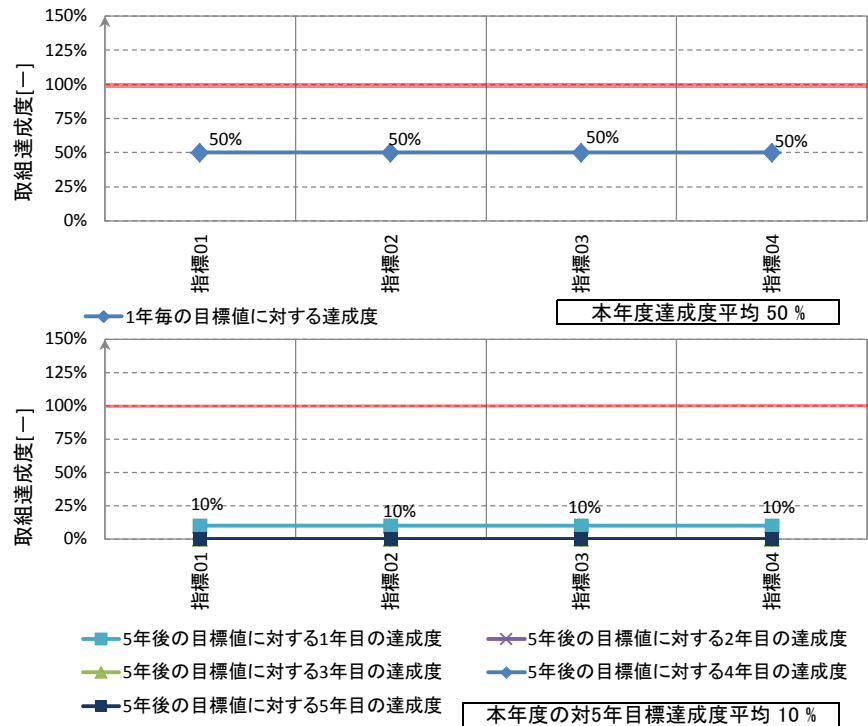
人口: 66,623人  
世帯数: 24,170世帯(平成24年3月末現在)  
就業人口: 34,733人(平成22年10月1日現在)  
面積: 890.04km<sup>2</sup>(うち森林面積759.45km<sup>2</sup>)

平成24年度の  
取組の都市総括

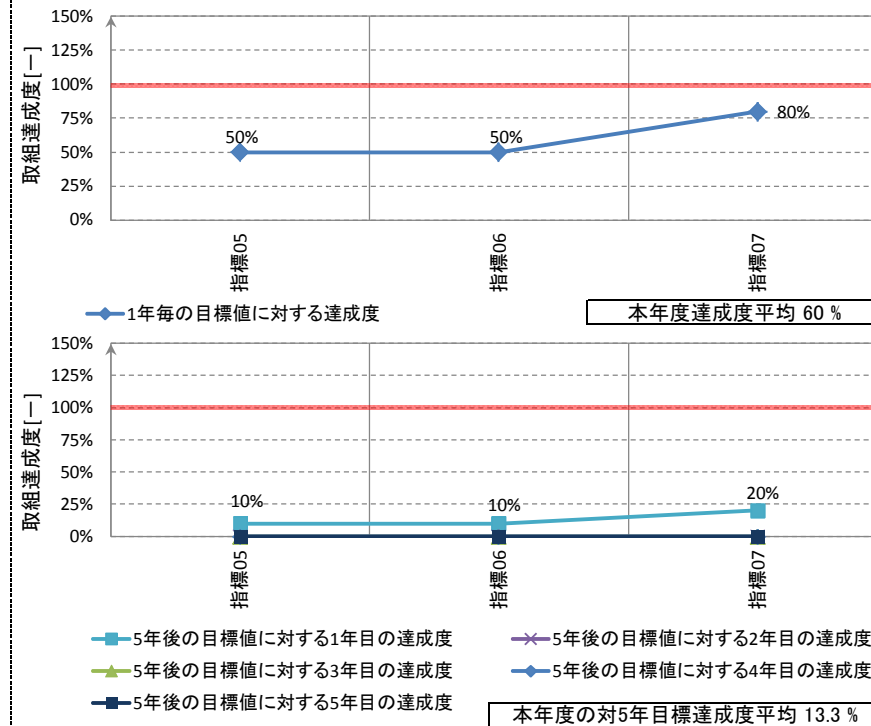
環境に関しては、18MW規模のメガソーラー発電所の整備が進み、平成25年6月着工予定である。また、地区公民館でのエネルギーマネジメントシステムが実装された。また、いくつかの小学校等の公共施設においても再生可能エネルギーの導入が進められており、再生可能エネルギーの導入量が着実に増加している。  
超高齢化対応としては、医療介護保健福祉協議会を通し、具体的な課題を抽出整理し、地域内の医療情報システム構築に向けてにおいては概念設計などにも着手した。  
産業については、木造モデル住宅を発表し、地域内での普及を促す。蓄電池工場の誘致については難しい情勢にあるが、蓄電池に限定せず環境関連の産業を含めて、誘致活動を継続する。

## フロー評価結果(取組進捗評価(自主評価))

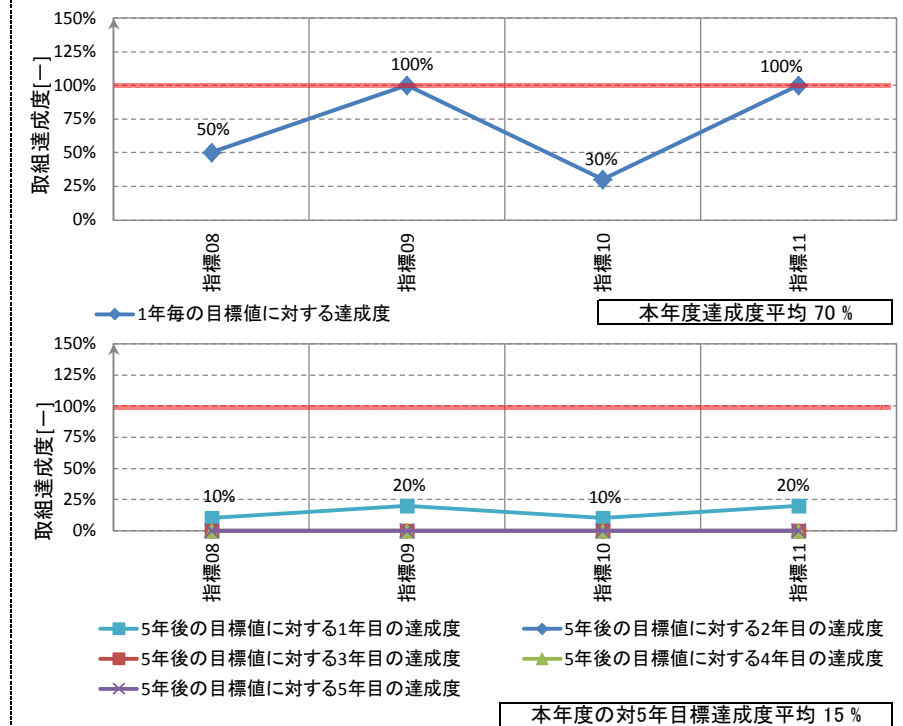
### Q1. 環境的価値



### Q2. 社会的価値

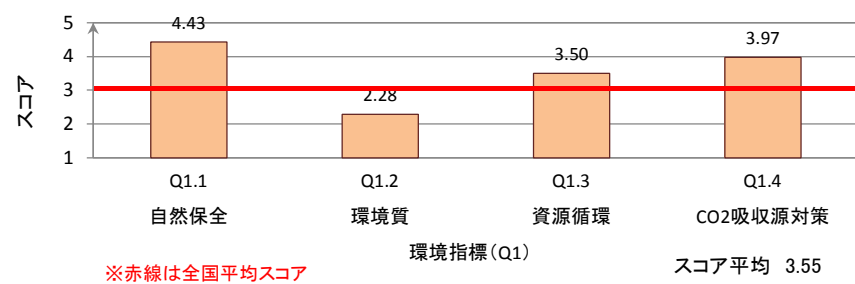


### Q3. 経済的価値

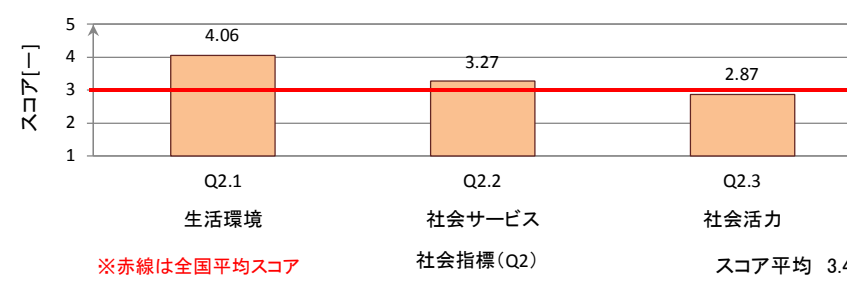


## ストック評価結果(CASBEE都市評価(統計データ)) ※統計データは2010年のもの。都市の現状値を評価

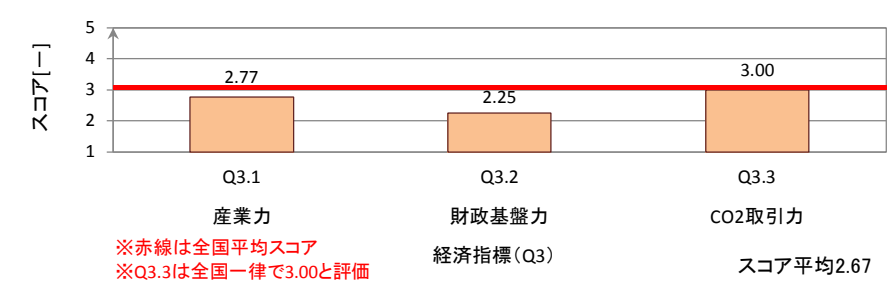
### Q1. 環境的価値



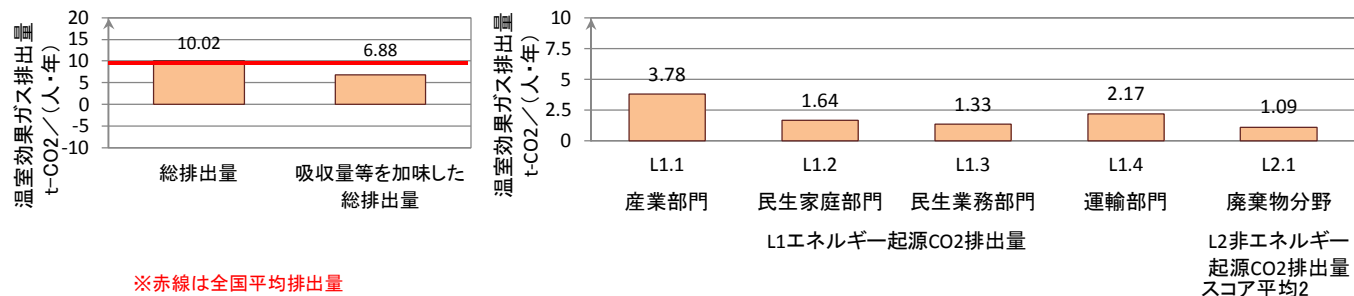
### Q2. 社会的価値



### Q3. 経済的価値



### L. 環境負荷(CO2排出量)



### 推進ボードからのコメント

申請時の主要目標であった大型蓄電池工場の建設、コンパクトシティ構想は実現困難な状況にあり、2市1町の協働も医療介護福祉の分野に限られている。実現可能性を考慮し、集中的に取り組むべき課題を絞り込むことも必要かと思われる。

### 推進委員会からのコメント

■医療連携以外についても2市1町が連携した形での取組みを進めて欲しい。  
■地域だけではなく、外部との協力関係を築くことも重要。外から人を呼び込み、富を呼び込む仕組み作りを検討しても良いのではないかと。

# 評価指標リスト

指標番号	価値分類	評価指標
指標01	環境	エネルギー自給率
指標02	環境	世界的認知
指標03	環境	自然エネルギー発電最大日量
指標04	環境	コンパクトシティモデルの整備
指標05	社会	高齢者など交通弱者向け移動手段の整備
指標06	社会	高齢者生活拠点の高台移転又は避難訓練実施
指標07	社会	医療・福祉・介護モデルの創出
指標08	経済	再生可能エネルギー関連産業の振興
指標09	経済	自然エネルギーを活用した農業振興
指標10	経済	水産業のインフラのスマート化
指標11	経済	気仙環境共生型木造復興住宅生産・供給体制の確立

## 環境未来都市 PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリスト

作成日：平成25年5月30日

作成者(部署／氏名)：

大船渡市環境未来都市推進室／藤原秀樹

承認者(部署／氏名)：

大船渡市環境未来都市推進室／志田努

確認事項	チェック項目	確認根拠	確認	是正処置
①環境未来都市計画及び目標の策定	環境未来都市計画の各取組に中長期(5年後)および単年度(1年後)の目標が設定されている。	気仙広域環境未来都市計画書	✓	
	全ての目標値は定量的に評価できる。定量的に評価できない目標値は、その進捗を計測する代替手段がある。			未対応
	全ての取組においては責任者が定められており、明文化されている。	気仙広域環境未来都市推進共同推進事業体規約	✓	
②実施体制の構築	構成員間の役割分担・責任分担が明文化された体制図が作成されている。	気仙広域環境未来都市計画別紙プロジェクトごとの体制図(コーディネーター併記)	✓	
	部局間、事業間の連携を図るために仕組みづくり(会議運営等、各都市で具体的な内容を明記)が検討されており、かつ実行されている。	気仙広域環境未来都市計画庁内推進委員会を設置済(大船渡市)	✓	
③都市間連携・ネットワークの有効活用	被災地6都市連携関連に関して連携をしている、もしくは今後連携を予定している。	環境未来都市(被災地)都市間情報交換会	✓	
	成功事例を他へ展開するために具体的な仕組みを構築している、もしくは今後構築を予定している。			未対応
④関係者の参画	全体計画の立案から、その実行、見直しの全てのフェーズにおいて関係者が参画している。	気仙広域環境未来都市推進共同事業体運営委員会	✓	
	環境未来都市計画において各取組に参画が必要な関係者が特定されており、明文化されている。	プロジェクトチームの体制図	✓	
⑤関連文書の記録・作成	文書の作成者、承認者が決まっている。また文書・記録の管理を実施する責任者が決まっており、明文化されている。	大船渡市文書取扱規定(大船渡市の管理により)	✓	
	作成された文書・記録の保管場所・保管期間が決まっており、関係者に周知徹底されている。	大船渡市文書取扱規定(大船渡市の管理により)	✓	
	ウェブサイト等のICTを活用した情報開示を行っている。	各自自治体のウェブサイト	✓	
⑥取組状況の定期的な確認並びに問題の是正および予防	計画の中で、定期的(具体的な回数、2回/年など)に「取組評価」の自主評価が明文化され、かつ実行している。			未対応
	定期的(具体的な回数、2回/年など)な自主評価の結果、目標の達成が難しいと判断された取組に対しては確実に是正処置を施すよう、その確認をする責任者が決められている。			未対応
	計画の中で、毎年PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリストの自主評価が明文化され、かつ実行している。			未対応
⑦代表者による全体の評価と見直し	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。			未対応
	代表者による全体評価において評価すべき項目が決められている。			未対応
	前回の代表者による全体評価での指示事項は全て実行されている。			未対応
⑧その他				

### 是正処置への対応の詳細

- ①目標値に対する進捗を計測できる代替手段を検討する。
- ③共同事業体の取組を紹介する仕組みの構築について検討する。
- ⑥取組評価については、計画見直しに合わせ明文化し、気仙2市1町環境未来都市担当部長会議及び気仙広域環境未来都市推進共同事業体運営委員会において自主評価を実施する。
- ⑦全体評価の項目を定め、適切に評価を行う。

### 代表者による確認

是正処置への対応を確実に実施し、改善を図ること。

### 推進ボードによる確認

環境未来都市の計画全体の大幅な見直しが必要であるが、それに先だってガバナンスの体制の立て直しが必要である。現在、広域(2市1町)のガバナンスが機能しているのは、医療介護保健福祉協議会の他はほとんど存在しない。3自治体の間で調整できるか定かでない。外部(例えば、内閣府、推進ボードなど)からの介入が必要かもしれない。

### 推進委員会による確認

- 全ての取組みににおいて3市町村が連携する必要は必ずしもないと考える。それぞれの強みを生かし、役割分担をしながら、協働し、責任を持ってばいれと考える。
- 連携モデルとしては高評価であるが、真の連携のためのガバナンスをより明確にすべき。

(参考)取組進捗状況一覧

環境未来都市計画での記載内容												1年目(2012年度)の達成状況							
都市名	取組番号	取組	指標番号	評価指標	価値分類	評価方法	基準値	1年目の目標値	2年目の目標値	3年目の目標値	4年目の目標値	5年目の目標値	1年目の目標値	1年目の実績値	単年度の達成度	5年目標に対する達成度	進捗状況説明		
岩手県大船渡市、岩手県陸前高田市、岩手県住田町	取組01	蓄電池を付帯したメガソーラー発電所の建設	指標01	エネルギー自給率	環境	定量評価 ※準備期間のため1年目のみ進捗率評価	0	概念設計、基本設計の策定					30%	概念設計、基本設計の策定	基本的な考え方の整理	50%	10%	18MW規模のメガソーラー1箇所について、基本設計、事業性の検討を行い、2年目(2013年度)から建設に着手することとなった。今後、他のメガソーラーについても建設検討を行っている。	
			指標02	世界的認知	環境	進捗率評価	0	メディアへのアプローチ						メディア掲載	メディアへのアプローチ	国内メディアへのアプローチ	50%		10%
	取組02	既存電力と再生可能エネルギーのハイブリッド・エネルギーシステムの構築	指標01	エネルギー自給率	環境	定量評価 ※準備期間のため1年目のみ進捗率評価	0	概念設計、基本設計の策定						30%	概念設計、基本設計の策定	基本的な考え方の整理	50%	10%	大船渡地区津波復興拠点整備事業の推進にあわせ、コンパクトシティにおけるマイクログリッドなどの導入検討を行った。今後、地域の方々及び関係者との調整を行っていく。
			指標02	世界的認知	環境	進捗率評価	0	メディアへのアプローチ						メディア掲載	メディアへのアプローチ	国内メディアへのアプローチ	50%	10%	
	取組03	自然エネルギー活用型スマート施設の構築	指標03	自然エネルギー発電最大日量	環境	定量評価 ※準備期間のため1年目のみ進捗率評価	0	概念設計、基本設計の策定						30%	概念設計、基本設計の策定	基本的な考え方の整理	50%	10%	1件の公共施設においてスマート化を実施したほか、移転新築する小中学校(3校)について概略仕様を作成した。今後、さらに詳細な設計等を進めていく。
			指標02	世界的認知	環境	進捗率評価	0	メディアへのアプローチ						メディア掲載	メディアへのアプローチ	国内メディアへのアプローチ	50%	10%	
	取組04	コンパクトシティの整備	指標04	コンパクトシティモデルの整備	環境	進捗率評価	0	概念設計、基本設計の策定						1地区の整備	概念設計、基本設計の策定	基本設計にむけた条件整理	50%	10%	大船渡地区津波復興拠点整備事業の推進にあわせ、コンパクトシティのモデル作成のため、マイクログリッドなどの導入検討のほか、商業地形成、地域プランディングなどに関する調査を行った。今後、地域の方々及び関係者との調整を行っていく。
			指標05	高齢者など交通弱者向け移動手段の整備	社会	進捗率評価	0	概念設計、基本設計の策定						1地区の整備	概念設計、基本設計の策定	基本設計にむけた条件整理	50%	10%	
	取組05	医療・福祉・介護の先進モデルの構築	指標06	高齢者生活拠点の高台移転又は避難訓練実施	社会	進捗率評価	0	基本設計の策定						実施率100%	基本設計の策定	基本方針の整理	50%	10%	気仙広域環境未来都市医療・介護・保健・福祉連携協議会にワーキンググループを設置し、年次のアクションプランを調整中である。
			指標07	医療・福祉・介護モデルの創出	社会	進捗率評価	0	基本設計の策定						モデル運用	基本設計の策定	基本設計方針の策定	80%	20%	
	取組06	取組06	定置型蓄電池工場誘致等による新産業の振興	指標08	再生可能エネルギー関連産業の振興	経済	進捗率評価	0	関係者調整					企業の誘致関連産業の拠点化	関係者調整	関係者調整	50%	10%	具体的な事業計画の作成に向け、今後関係者を含めて協議調整を行う。
	取組07	先端技術及びノウハウを活用した水産業、農業、林業の振興	指標09	自然エネルギーを活用した農業振興	経済	進捗率評価	0	概念設計、基本設計の策定						植物工場の整備	概念設計、基本設計の策定	概念設計、基本設計の策定	100%	20%	再生可能エネルギーを活用した植物工場については、概念設計及び基本設計を終え、水産業へのEMS導入については、中小水産加工業者の集約化の可能性調査を行った。
			指標10	水産業のインフラのスマート化	経済	進捗率評価	0	概念設計、基本設計の策定						EMSの導入	概念設計、基本設計の策定	概念設計	30%	10%	
	取組08	取組08	地場の産業を活性化する木造環境性能住宅団地の開発	指標11	気仙環境共生型木造復興住宅生産・供給体制の確立	経済	進捗率評価	0	概念設計、基本設計の策定					推進組織の設置	概念設計、基本設計の策定	概念設計、基本設計の策定	100%	20%	概念設計及び基本設計を終え、モデルハウスの建設中である。今後、具体的な推進組織などの体制構築や、大船渡市及び陸前高田市における復興住宅としての供給に向けた調整を行っていく。